



いずくら雄太県議会レポート

発行/自由民主党千葉県議会議員会

〒260-0855 千葉市中央区市場町2番13

電話043(227)7411

新型コロナ対策

観光客誘致はまず県内から

6月議会一般質問に登壇

市原市選出で、自民党の若手の一人、伊豆倉雄太(いずくら・ゆうた)県議は、新型コロナウイルス感染症対策で前例のない規模の補正予算案を審議した6月定例会議会で、一般質問に登壇しました。

伊豆倉県議は、新型コロナウイルスの影響で大きな打撃を受けた県内の観光業のテコ入れ策をただしたほか、1月に市原市内で発生した幼児虐待死亡事案を取り上げ、子ども虐待対応マニュアルの市町村への徹底を強く求めました。そのほか、林業の振興など伊豆倉県議の主な質疑を特集しました。

解除後は次のステージ

伊豆倉議員 新型コロナウイルス感染症の緊急事態宣言で、千葉県は観光地にお客さんが激減しました。今、緊急事態宣言の解除を受けて、

伊豆倉議員 新型コロナウイルス感染症の緊急事態宣言で、千葉県は観光地にお客さんが激減しました。今、緊急事態宣言の解除を受けて、



感染防止のマスクをして登壇した伊豆倉県議

飲食店などの支援策も訴え

6月議会一般質問に登壇

また、今後の進め方はどうか。森田知事 現在、県内の観光施設などでは新しい生活様式を踏まえながら、営業を行っており、県では、県内観光写真の投稿によるプレゼントキャンペーンを、SNSなどを活用して情報発信し、県内からの誘客に取り組んでいるところです。

障害児者家族の感染

伊豆倉議員 支援が必要な障害者や障害児、要介護者の家族が感染した場合、県としてどのように対応するのか。

健康福祉部長 障害児者や要介護者が感染した家族と濃厚接触した場合は、PCR検査の対象となり、その結果が陰性の方には、基本的には保健所の指示により自宅待機し、健康観察を受けていただくこととなります。

地域バスへの支援も

伊豆倉議員 地域コミュニティを支えるバスへのコロナウ

今後は、新型コロナウイルスの収束状況を見極めながら、徐々に県外からの観光客の誘致を進め、さらに国が実施する観光キャンペーンと連携し、本県観光の魅力を積極的にPRしてまいります。

要望 観光客増加には、安心して出かけられる、迎える側の体制も必要不可欠ですので、今後衛生管理などについても援助を検討していただきたい。

要望 家族の感染に對し、利用者を受け入れるかどうかの最終的な判断は、事業者の判断となっていますが、福祉施設事業者での判断はかなり難しいため、県として今後の感染症対策には、ある程度のガイドラインを決めていただきたい。

森田知事 本県の中小企業再建支援金は、新型コロナウイルスの感染拡大の影響により、売り

伊豆倉議員 次は経済対策について伺います。私の個人的な感想では、感染防止のための「新しい生活様式」は納得するものもありますが、現状では、企業や社会が追いついていかないものがあるように感じます。

各都道府県は、国とは別に支援策を設け、中小企業に対する支援を行なっています。そこで伺います。中小企業再建支援金について、近隣の他県と比較した主な違いは何か。

中小企業再建支援金

上げが大きく減少した事業者の方々が、感染症対策や経営改善などの取り組みを行っていただくための費用として支援するものです。

本県の支援金も、休業要請への協力を条件にしておりませんが、休業要請の対象とならない宿泊業や飲食業なども含め、幅広い業種を支援するものとなっています。

要望 報道により、お酒を提供する店は危険であるかのような認識を持たれていますが、税金もしっかりと納め、県や国の指示に基づき、自粛している店舗に少しでも廃業者が出ないよう、支援や手続きの簡素化を要望します。

●商工労働常任委員長に就任

いずくら雄太 県議事務所

〒290-0081 市原市五井中央西2-11-5
TEL.0436-37-1777 FAX.0436-37-1331

虐待対応マニュアルの徹底を!

治水ダム運用体制を強化へ

市原市内の虐待事例

伊豆倉議員 わが党は、児童虐待撲滅へ向けて、県庁の皆さんと緒を取り組んでまいりましたが、今年1月、市原市で生後10か月の尊い命が失われてしまいました。どんなに親から虐待を受けても、子どもには親がすべてです。しかし、小さな子供が親から養育されなかつた時、誰かが手を差し伸べてやらなければなりません。もう二度とこのような悲惨な事件が発生しないように、なお一層の取り組みが必要と必要です。

そこで伺います。市町村に対し、千葉県子ども虐待対応マニュアルの徹底を図るべきだと思いませんか。
健康福祉部長 県では、昨年の死亡事例を受けて、本年3月に「子ども虐待対応マニュアル」を改訂し、市町村に対して周知を図ったところですが、こうした中で、市原市で事件が起きてしまったことを、大変重く受け止めています。今回の事例を踏まえ、要保護ケース等における児童の安全確保の徹底について、改めて市町村に通知したところです。

今後、市町村に対する研修などを通じて、リスクアセスメントの方法や児童相談所との役割分担、市町村内部での関係部署の連携など、子ども虐待対応マニュアルの更なる徹底を図ってまいります。

要望 100件近い案件を行う要対協での人員の増加や、1件1件丁寧に検証していくこと、また、早期発見できるように、園や学校、病院とも更なる連携強化の必要性を感じており、二度とこのような悲惨なことが起きないように、なお一層の取り組みを要望します。

伊豆倉議員 現在、循環器病センターでは、脳卒中を診察する医師が不足しています。今後、常勤医

循環器病センター 常勤医師の確保要望

伊豆倉議員 現在、循環器病センターでは、脳卒中を診察する医師が不足しています。今後、常勤医



座ったまま再質問に臨む伊豆倉県議

少したため、非常勤医師を活用し、現在、脳卒中患者の救急受け入れを週2回実施しているところです。
病院局長 循環器病センターの医療機能が十分発揮できるように、大学医師への医師派遣要請、人材紹介会社の利用及びインターネットを活用した募集活動の充実強化を図り、引き続き必要な常勤医師等の確保に努めてまいります。

要望 課題は医師不足から始まっており、医師確保のために修学資金制度がありますが、もう一歩踏み込んだ政策を実現していただくことを要望します。また、島根の赤ひげバンクのようなものを千葉県でも実施しているということですが、後追いができていないため、もっと進めていただきたい。県内の医師が少しでも増えるよう検討することを要望します。

伊豆倉議員 昨年10月、山ダムは、線状降水帯による豪雨により、ダムの水位が急激に上昇したため、緊急放流の実施が公表されま

治水ダムの緊急放流

した。結果的に放流は行なわれませんでした。ダム下流に住む市民9万人には、避難勧告が発令されるなど、地域にとっては暮らしを揺るがす大変な事態であ

り、多くの住民が不安にさらされました。そこで伺います。治水ダムの事前放流や緊急放流など、運用体制の強化についての取り組み状況はどうか。
県土整備部長 高滝ダムと亀山ダムでは、治水機能の強化を目的に、大雨の前にあらかじめ貯水位を低下させ、利水容量の一部を治水容量に振り替えることで、洪水を貯留する量を最大

に努めてまいります。今後、今回定めた事前放流の運用や、緊急放流に際しての連携を確実に実施するとともに、更なる改善に努めてまいります。

林業への就業促進を

伊豆倉議員 次に林業の振興について伺います。治山事業、千葉県の山林を守るためにも、こういう時期だからこそ、千葉県版ニューデール政策のようなものがあるといいと思います。林業への就業を希望する方に対して、どのような支援を行っているのか。
農林水産部長 林業従事者の確保を図るため、国において、経験の有無に関わらず就業することができるよう、林業経験などの就業前講習や就業直後のレベルアップ

研修が行われております。県では、国が実施する講習会等への参加の斡旋や求人情報の提供を行うための相談窓口を設置するほか、森林組合連合会が実施する就業相談会に職員を講師として派遣するなど、林業への就業を促進するための支援を行なっています。

なお、就業後の定着率が低いなどの課題もあることから、労働負担の軽減や安全確保を図るため、伐採や丸太の加工などを自動で行う機械の導入等の支援も併せて行っているところです。

伊豆倉議員 森林資源の循環利用の二つとして、県内でも木質バイオマスの活用を推進すべきだと思いが、県としてどのように取り組んでいるのか。
農林水産部長 県では、森林組合等の林業事業者に対し、木材を運び出す経費を助成することと合わせ、ストックヤードの整備を促しているところです。平成30年度には伐採された間伐材や被害木の約6割にあたる1万立方メートルが木質バイオマス発電の燃料として利用されました。

伊豆倉議員 森林資源の循環利用の二つとして、県内でも木質バイオマスの活用を推進すべきだと思いが、県としてどのように取り組んでいるのか。

木質バイオマス燃料

要望 森林再生を加速化し、林業従事者を定着させるためにも、ある程度のお金を注ぎ、千葉県版ニューデール政策のようなものを行っていただきたい。



コロナ禍の議場全景